

## レッスン12

# コピー食品

しょく ひん



## 本文

ほんぶん

### Main Text

コピー食品しょくひんがで出まわっている。コピー食品しょくひんというのは、本物ほんものではないが、本物ほんものによくよくにている食品である。たとえば、かにかにの足あしのように見えるが、\*実は安やすいさかなあしでつく作ったものや、サラダオイルでつく作ったイクラなど、たくさん出ている。本物ほんものよりずっと安やすい材料ざいりょうを使つかったり、ふつうなら捨すてる部分ぶぶんを集あつめて上等じょうとうの肉にくのようにつくったりする。お客きゃくは安やすいと思おもってよろこんでか買う。

このようなコピー食品しょくひんを作るには、高度こうどな技術ぎじゆつが必要ひつようである。最近さいきんは加工かこう技術ぎじゆつがすすんだので、味あじ、色いろ、形かたちから、かおり、歯はざわりまで、本物ほんものそっくりの物ものを作つくることができる。しかし、安やすい材料ざいりょうをおいしくするためには、たくさんおほの食品添加物しょくひんかぶつを使う。また、大おほ

な工場こうじょうで大量たいりょうに作るから、合成保存料ごうせいほぞんりょうなどもたくさん使つかう必要がある。

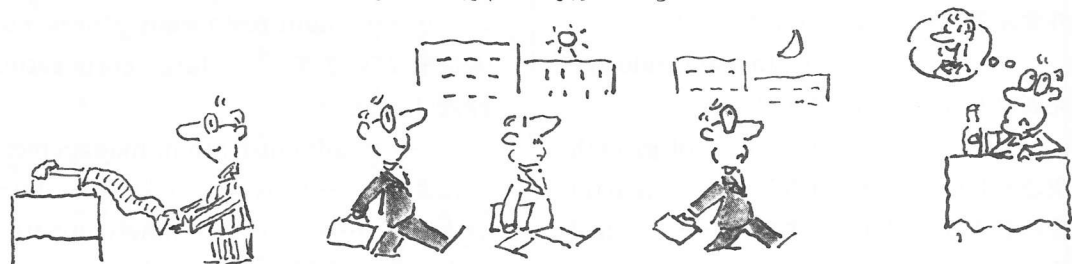
こうしてできたコピー食品しょくひんは形かたちが同おなじで、料理りょうりしやすやすいから、学校給食がっこうきゅうしょくや外食産業がいしょくさんぎょうで使つかうのにむいている。これから大おほきくなる子こどもたちたちが、コピー食品しょくひんをたくさん食たべるのは、心配しんぱいなことである。しかも、本物ほんもののさかなとちがちがって骨ほねがないから、よろこんで食たべる場合ばあいも多いそうだ。

にせものの食品しょくひんは昔むかしからあつた。安やすいさかなを高たかいさかなの名な前で売うったりするこことは、めずらめずらしくなかつた。しかし現在げんざいは、加工技術かこうぎじゆつの進歩しんぱのため、人間にんげんの体からだにわるいものものがあるようになった。科学かがくの進歩しんぱが人間にんげんを苦くるしめるのはおほざんねんなことである。

## レッスン13

# 在宅勤務

ざい たく きん む



### 本文

ほんぶん

#### Main Text

会社へ行かないで自宅で仕事をする  
ことを在宅勤務ざいたくしごとと言う。在宅勤務を始めた会社はじめたかいしゃがいくつかあるそうだ。社員社員の家に機械きかいをおいて、会社からファクシミリで仕事の指令しじょうを送る。社員はその指令にしたがって仕事をするのである。

たとえば販売はんばいの仕事の場合、ふつうは朝、会社へ行って仕事の指令をうけとってから、小売りの商店へ注文ちゆうもんをとりに行く。ところが在宅勤務の場合、朝、自宅に指令のファクシミリがとどく。すぐそれを持って近所の商店へ行く。だから、ほかの会社の社員より早く商店へ行って、先に注文をとることができる。ある薬品会社では、この方法で四十パーセント売りあげがのびたそうである。

会社へ行く必要がないのは、社員にはありがたいことである。何よりも、満員電車まんいんでんしゃにのらなくてもいいのはうれしい。夕方早くうちへ帰って、家族といっしょに食事しょくじをすることができる。会社のほうも、社員があまりこないのだから、大きな事務所おおじむしょをもつ必要がない。

しかし、いいことばかりではない。\*そうである。いつもひとりで仕事をしている社員は、なんとなく不安になる。一週間に一度ぐらひは、会社へ行きたくなる。会社へ行って同僚と話をすると、安心するそうだ。地域の人たちとあまりつきあいのないサラリーマンには、同僚とのつきあひは重要なものである。人間はやはり集団で行動する動物なのであろう。\*